

## ベトナムでICT活用機能性レタスの栽培、販路開拓 安全で高付加価値の野菜栽培で農業セクターの近代化を目指す

国際協力機構(JICA)は6月23日、福島県相馬市の株式会社トーヨーエネルギーファーム(岡田吉充代表取締役)による、「機能性野菜栽培・販売に関する調査」を「中小企業連携促進基礎調査」事業として採択しました。

ベトナムでは農業法人による高付加価値野菜栽培の取り組みが遅れており、ICTによる環境整備や栽培最適化を活用して栽培した機能性野菜の市場ポテンシャルは大きい。本事業により、日本の技術を活用した同栽培の導入実現性を調査する。ベトナムでは中間層と富裕層が拡大し、安全で質の高い機能性野菜へのニーズが高まっており、同社は、同野菜の栽培・販売を通じ、同国の農業セクターの近代化を目指す。



(同社の機能性野菜栽培設備)

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業連携促進基礎調査」として実施されます。本スキームは、優れた製品や技術力を有する中小企業が途上国に進出することによる開発課題解決の可能性及び ODA 事業との連携可能性を検討するためのもので、検討に必要な基礎情報の収集と海外展開事業計画の策定を目的としています。2015年1月に公示を行い、32の応募のうち5件が採択されました。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)中小企業連携促進基礎調査2014年度第2回公示の採択結果について  
[http://www.jica.go.jp/press/2015/20150623\\_02.html](http://www.jica.go.jp/press/2015/20150623_02.html)

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東北支部 高橋(担当)

TEL 022-223-4772 e-mail : Takahashi.Hiroaki@jica.go.jp